

5 - 11 東海地方における重力変化の観測(1) Observation of Gravity Change in the Tokai Region

名古屋大学理学部
School of Science, Nagoya University

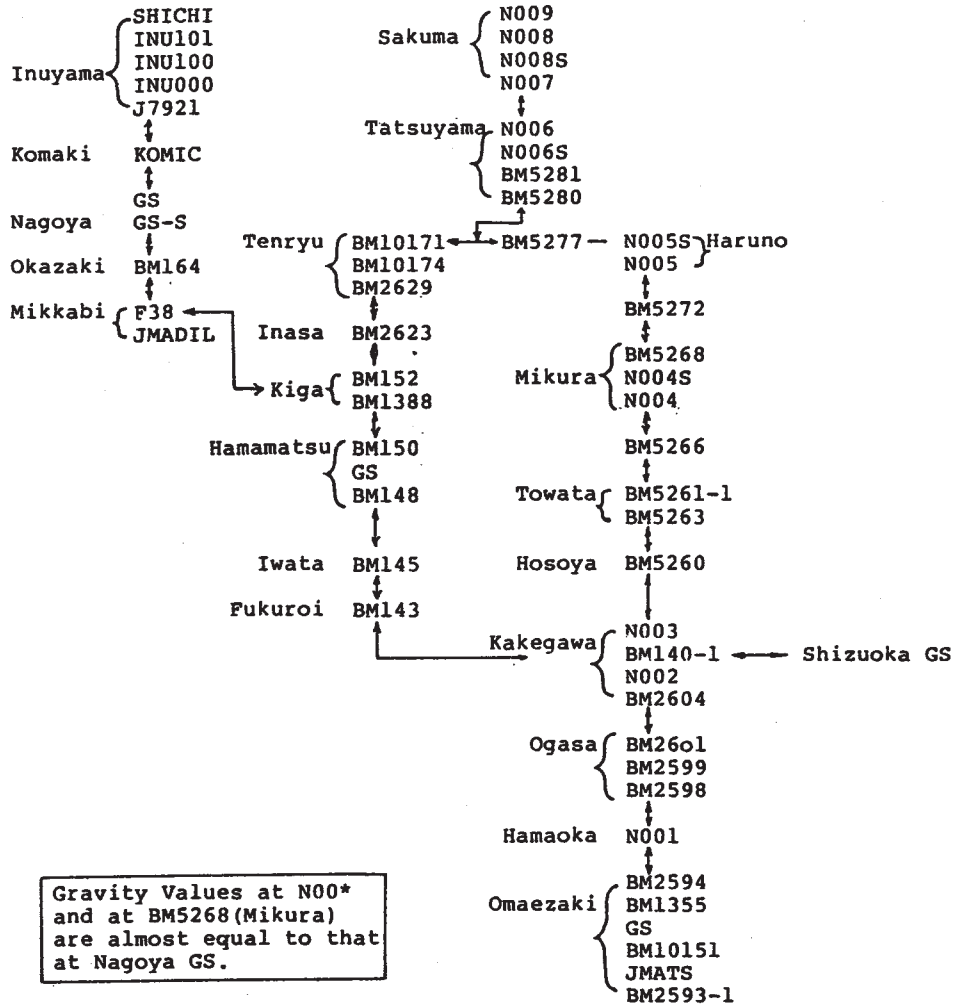
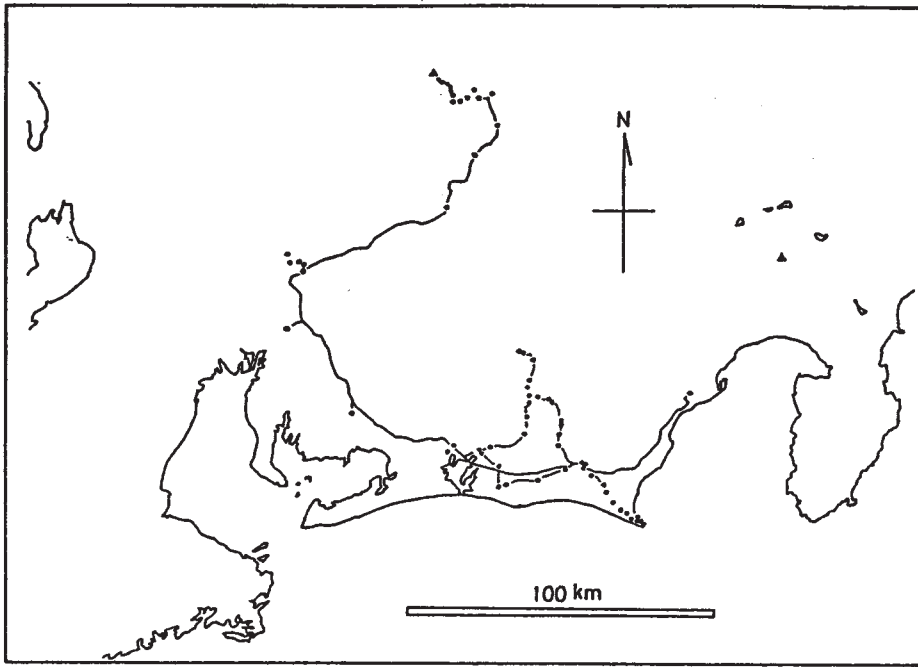
東海地方において、ラコスト重力計 G - 484 を用い、1981 年以後、重力変化検出のための重力の精密測定を続けている。設定した観測網と、重力結合のルートを図 1 に示す。

このうち、これまでに 3 回以上の測定が行われたルートについて得られた結果を報告する。図 2 は犬山から静岡・掛川をへて、御前崎に至るルートについてのものであり、図 3 は、佐久間と御前崎を結ぶルートについて示したものである。データ処理は、京都大学による電算プログラムにより、各測定時期ごとの基準点として犬山地震観測所坑内に設置した J7921 を採用し、これに対する相対重力差の時間的変化が図示されている。

以下に得られた結果の特徴を記す。

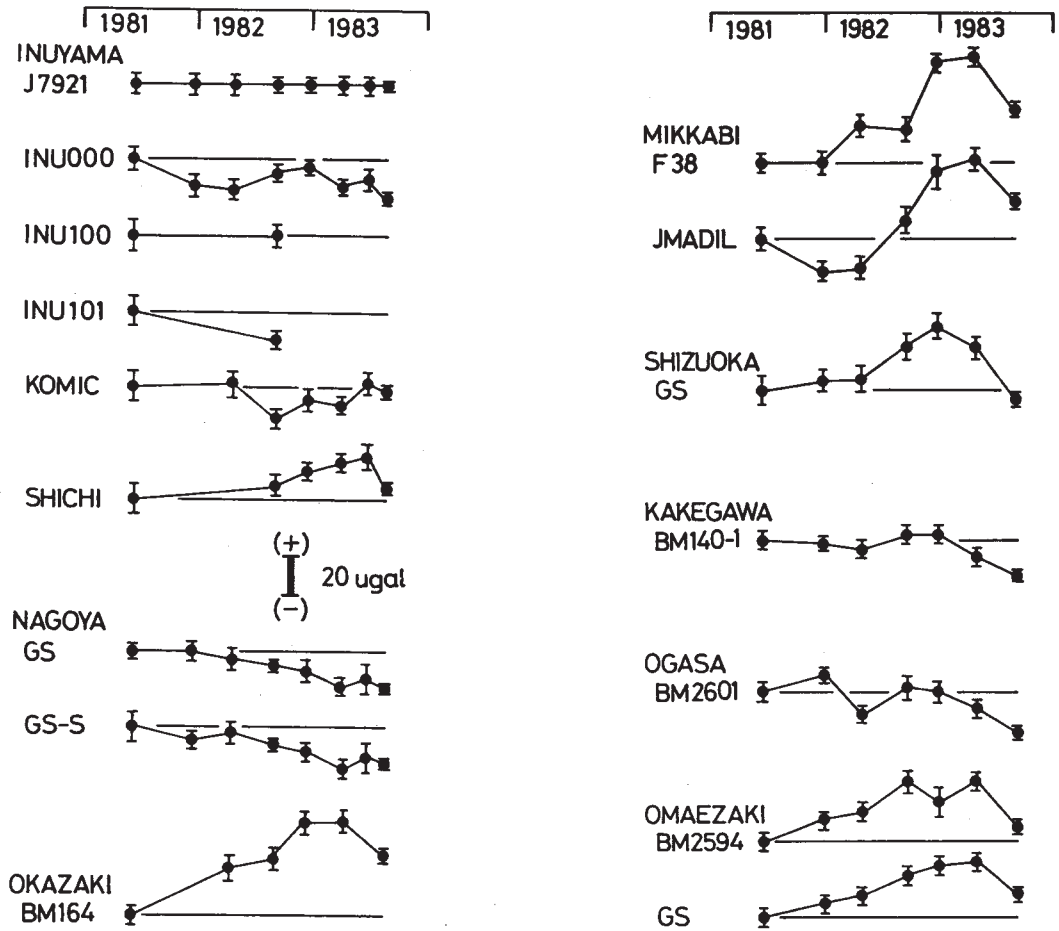
- 1) 岡崎から静岡にかけて見られる大きな変化は、ドリフトがうまく除去できていない可能性があり、やや疑問がのこる。
- 2) 佐久間 - 御前崎間のルートで、隣接点同志でよく似た変化パターンが見られるのは前項と同様理由で、ドリフトがのこっている可能性があり、やや疑問がのこる。
- 3) 前 2 項の問題を度外視すると、次のようなことが認められる。
 - 名古屋は重力値が減少しているように見える。
 - 掛川地区はほとんど変化ない。
 - 御前崎は重力値が増加傾向にある。
 - 秦野から佐久間にかけてはあまり変化しているようには見えない。

なお、今回設定された観測網のうちの主要部分については、京都大学理学部と共同観測を行っているが、この報告は、名古屋大学所有の重力計による結果だけを記したものである。



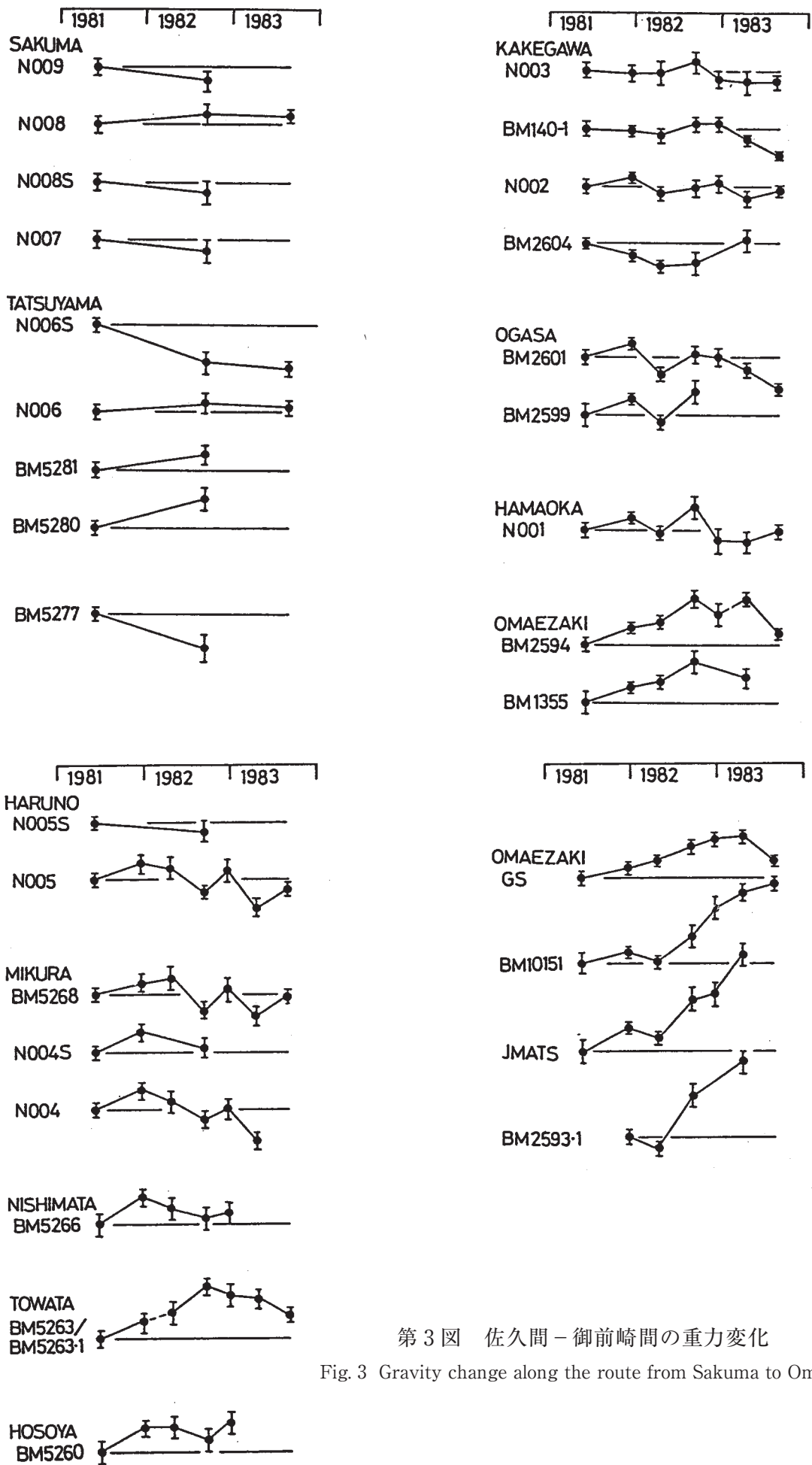
第1図 重力測定網と精密重力結合のルート

Fig. 1 Network for precise gravity measurements.



第2図 犬山-御前崎間の重力変化

Fig. 2 Gravity change along the route from Inuyama to Omaezaki.



第3図 佐久間 - 御前崎間の重力変化

Fig. 3 Gravity change along the route from Sakuma to Omaezaki.